

1. 件名：日本原燃(株)MOX燃料加工施設燃料加工建屋の鉄筋健全性について

2. 日時：令和3年3月12日 10時30分～12時00分

3. 場所：原子力規制庁2階会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部

専門検査部門

大東首席原子力専門検査官、村尾企画調査官、中田上席原子力専門検査官、
千葉管理官補佐、館内主任原子力専門検査官、小野原子力専門検査官、
清水検査技術専門職、

核燃料施設等監視部門

服部上席監視指導官、松倉原子力規制専門員

日本原燃（株）燃料製造事業部 副事業部長 他7名

5. 要旨

○日本原燃（株）から、MOX燃料加工施設燃料加工建屋の鉄筋健全性について、資料に基づき以下の説明があった。

- ・建屋の工事再開に向け地下3階壁の差し筋の健全性確認について、事象概要、各試験結果、差し筋取替工事方法、健全性について評価した結果等について取りまとめた。

○原子力規制庁から、以下の内容を伝えた。

- ・資料の構成は、健全性調査プロセス、調査結果、評価結果、措置、総合評価を明確に整理したものとする。また、超音波探傷試験用標準試験片によりデジタルノギスの器差を確認する手順について、具体的に説明すること。
- ・超音波探傷試験用標準試験片を介してデジタルノギス5台を使用する前に点検及び器差を確認し、鉄筋径の計測を行うことについて、計測機器や調査点検に関するQMS文書との関係から適切であったか、別途説明すること。

○日本原燃（株）から、承知した旨回答があった。

6. その他

資料：MOX燃料加工施設 燃料加工建屋の鉄筋健全性 評価資料のまとめ